

令和 3年度
岡山県内におけるカワウねぐら調査報告書
(冬期調査)



<カワウ>

日本野鳥の会岡山県支部

令和 4年 2月

岡山県内における冬期のカワウのねぐら利用個体数調査報告

1. 目的

近年、個体数・分布域が増加・拡大し、農林水産業等に被害を与えているカワウについて、生息状況を把握し、今後の鳥獣被害防止対策の適正な推進のための基礎資料とする。

2. 調査の内容

県内の冬期カワウのねぐらを観察し、カワウの生息状況について調査した。

3. 調査の方法

(1) 調査回数及び調査時期

年1回（冬期）カワウの生息状況のモニタリングのため、ねぐらにおける個体数調査をカワウがねぐらとしている場所を特定しておいて冬期のカワウねぐら調査を12月中旬から1月上旬の間に行った。

(2) 調査場所

県内のコロニー及びねぐら

(3) 調査事項

カワウの個体数等

① コロニー及びねぐら入りしている個体数

② コロニー及びねぐらへ帰還してくる個体数及び飛来方向

なお、ねぐらへ帰還してくる日没前後の時間帯において個体数及び飛来方向等を調査しその記録を記した調査記録用紙は別紙「令和3年度 冬期のカワウねぐら調査結果 資料編」に示す。

4. 調査結果

本年度県内で冬期に生息するカワウの羽数は、6,631羽であった。

その内、吉井川水系で716羽、旭川水系で2,638羽、高梁川水系で1,181羽、そして海上部諸島と海岸域での湖沼で2,096羽の生息分布であった。

確認できたカワウのねぐら確認場所とカウント羽数を表-1に示す。

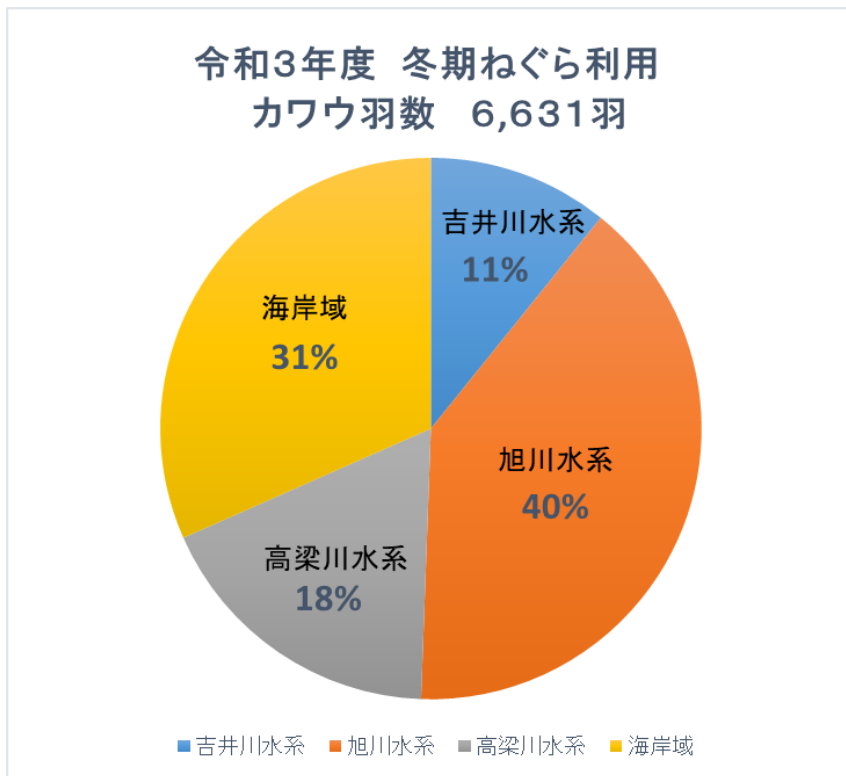
カワウのコロニー・ねぐら調査箇所は、42か所行い、その中で利用していた箇所は、28箇所であった。利用されていない箇所は、そのほとんどが繁殖期のコロニーとして利用していた場所であった。また、新たにねぐらとして確認された場所（復活）が1箇所見つけた。さらに、カワウ駆除としてねぐらに防除テープを張っていたねぐらが4か所あり、去年は利用していたが本年の利用は確認されなかった。

表-1 令和3年度 冬季ねぐらにおけるカワウ生息数調査

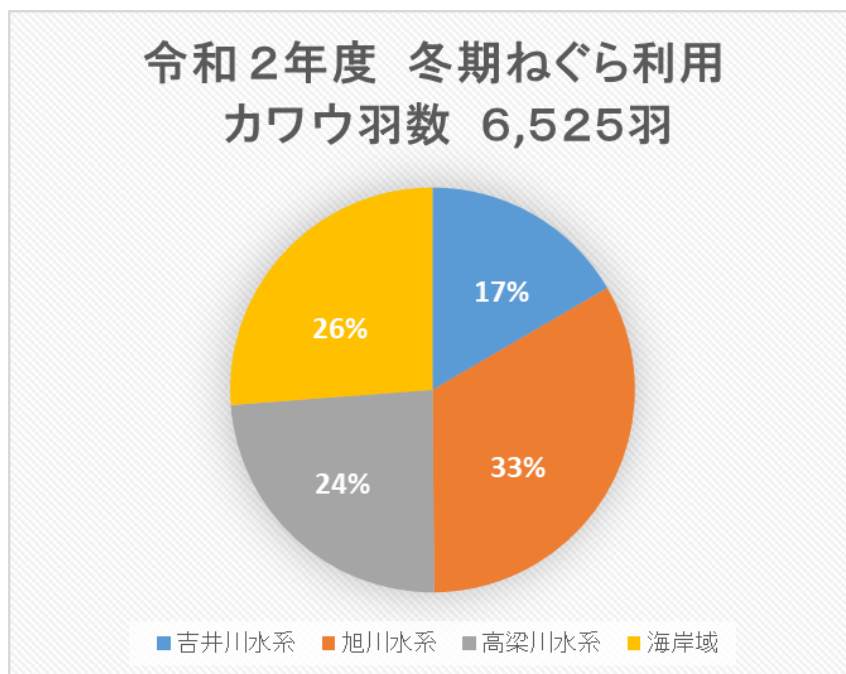
No.	河川名	ねぐら場所	調査日	本年個体数	備考	昨年個体数
1-1	吉井川	岡山市東区川口 中州 観音院対岸	12月11日	340	営巢中	433
1-2	"	岡山市東区百枝月 豆田対岸	12月25日	173		343
1-3	"	赤磐市熊山勢力 山陽道橋下流	12月12日	97		31
1-4	金剛川	和気町藤野	12月16日	15		25
1-5	吉井川	和気町佐伯苦木	12月16日	0	利用無し	0
1-6	"	和気町佐伯塩田 備作大橋下流	12月16日	0	夏季コロニー	0
1-7	"	和気町佐伯塩田 周匝橋下流	12月16日	79		96
1-8	"	津山市瓜生原 押淵上バス停対岸	12月21日	0	テープ防除	5
1-9	"	津山市日上	12月21日	0	テープ防除	49
1-10	"	津山市宮尾 新錦橋上流	12月10日	0	テープ防除	101
1-11	"	鏡野町 奥津湖 苫田大橋下流	12月14日	0	夏ねぐら	—
1-12	広戸川	津山市日本原 広谷新池	12月22日	0		0
1-13	琵琶首川	奈義町御所野 神五郎池	12月22日	8	新規	—
1-14	吉野川	美作市青野 尾谷橋下流	12月29日	0	テープ防除	0
1-15	肘川	勝央町福吉 切池	12月22日	0		0
1-16	滝川	勝央町勝間田 荒神谷池	12月22日	4	新規	—
		吉井川 水系 小計		716		1083
2-1	百間川	岡山市中区沖元 百間川中洲	12月18日	209		80
2-2	旭川	岡山市中区中原 三野公園前	12月22日	2377	営巢中	1,711
2-3	"	岡山市北区御津野々口	12月19日	0		0
2-4	"	岡山市北区御津矢原	12月19日	26		75
2-5	"	岡山市北区建部町吉田 中吉橋上流	12月11日	5		48
2-6	"	美咲町栢原 旭川ダム湖 浮桙上	12月19日	0		0
2-7	"	真庭市落合町法界寺	12月10日	0		164
2-8	砂川	岡山市東区瀬戸町笹岡 砂川	12月25日	1	夏ねぐら	0
2-9	二井用水	赤磐市桜ヶ丘西 二井大池	12月11日	20		93
		旭川 水系 小計		2638		2171
3-1	汐入川	倉敷市水島川崎通り 汐入川遊水池	12月20日	486		554
3-2	高梁川	倉敷市酒津 清音古地の対岸 八幡山	12月10日	215		252
3-3	"	総社市福谷	12月11日	101		170
3-4	"	高梁市玉川町玉	12月19日	23		206
3-5	成羽川	高梁市備中町布賀黒鳥(黒鳥ダム下流)	12月14日	42		48
3-6	成羽川	高梁市備中町平川 二又瀬	12月23日	93	復活	—
3-7	成羽川	高梁市備中町平川 新成羽川ダム湖	12月10日	0		2
3-8	西川	新見市哲多町宮河内 河本ダム	12月17日	5		132
3-9	小田川	井原市木之子町 小田川	12月19日	0		0
3-10	星田川	井原市美星町星田 星田池	12月10日	19		14
3-11	稲木川	井原市木之子町 蛭田池	12月18日	197		184
		高梁川 水系 小計		1181		1562
4-1	片上湾	備前市 片上湾 前島	12月19日	805		186
4-2	牛窓町	瀬戸内市牛窓町鹿忍	12月18日	263	営巢中	210
4-3	児島湾	岡山市南区宮浦 高島	12月14日	478		920
4-4	水島灘	倉敷市児島通生 葛島	12月11日	286	営巢中	264
4-5	玉島港	倉敷市玉島柏島 玉島港 丸山	12月11日	204	営巢中	83
4-6	深山公園	玉野市田井 深山公園 中池	12月23日	60		46
		海岸域および河川以外の場所 小計		2096		1709
		調査か所42か所中28か所のねぐらでのカワウ生息数 総計		6631		6525

各河川水系における出現割合を図－1に示す。

図－1 令和3年度 各河川水系における出現割合図



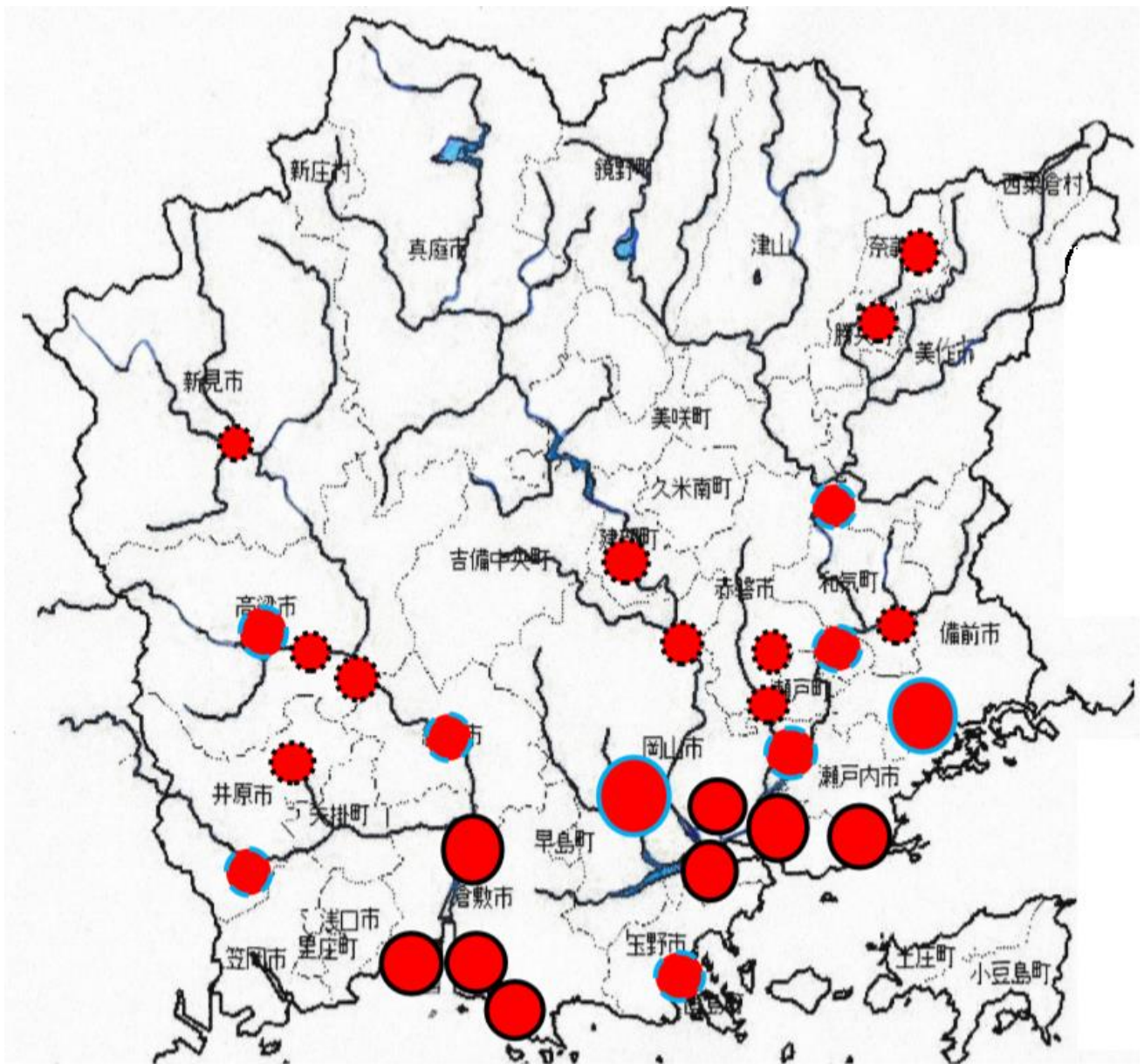
図－2 令和2年度 各河川水系における出現割合図



昨年と比較して羽数は106羽の微増であった。吉井川水系と高梁川水系で羽数を減らし、旭川水系と海岸域で羽数を増やしている。概ね安定しているようである。

ねぐらが確認された場所を図-3に示す。

図-3 カワウの冬期ねぐらが確認された場所図



羽数規模別個所	
501羽以上	2個所
201～500羽	8個所
51～200羽	7個所
50羽以下	11箇所
合計	28個所



5. まとめ

令和3年度、冬期における岡山県内に生息するカワウの個体数と夕刻に「ねぐら入り」する羽数をカウントした調査結果は、総数6,631羽であった。

今年度、春の繁殖期にコロニーでカウントした羽数は、2,811羽であったから、繁殖期の夏期に岡山県内に生息していた羽数と比較すると冬期には、3,820羽増加している。昨年度の冬期増加数は、2,952羽であったので、本年度は、868羽ほど多かったようである。年により渡来羽数は多少の増減がある。

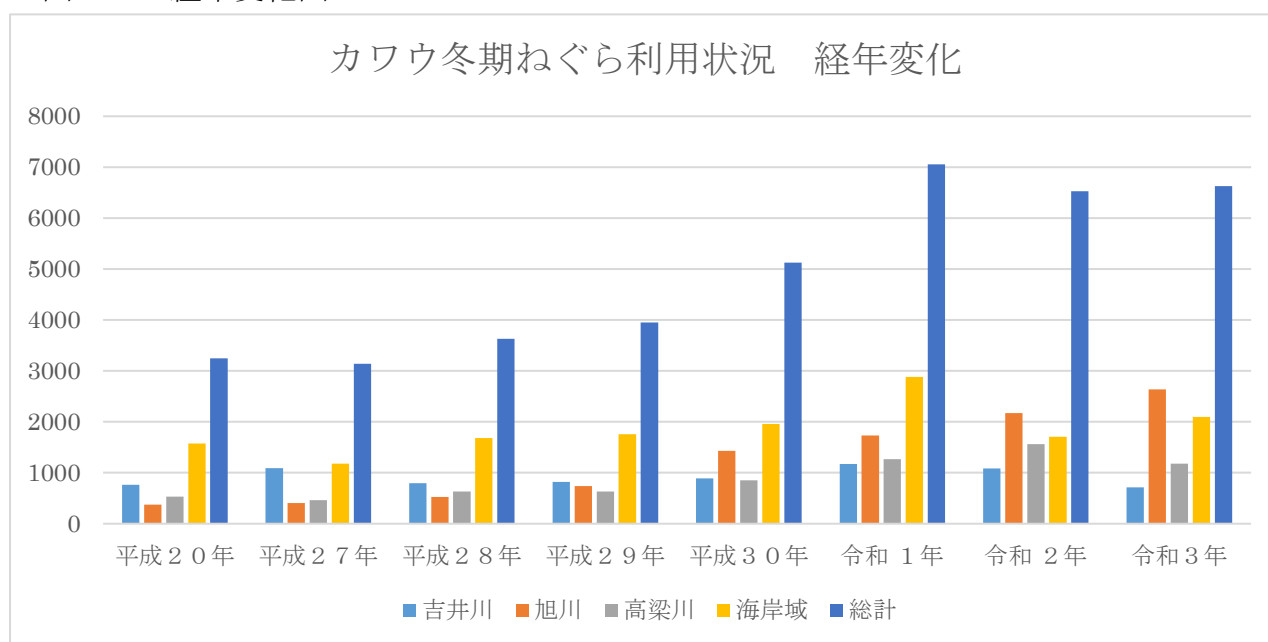
今年度確認された冬期羽数を以前の調査結果と比較すると表-2となる。

表-2

年度	H14年	H18年	H20年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
羽数	2,251	3,344	3,245	3,140	3,629	3,949	5,125	7,053	6,525	6,631

県北部での生息個体数の確認が減少しているように見えるが、全県的にはほとんど変化が見られないように思える。

図-3 経年変化図



冬期における県内の羽数は、令和元年度の7,053羽が最高であったが、それ以降500羽ほど少ないだけで経過している。総数では大きな変動が無いようであるが、各水系においては、吉井川水系と高梁川水系で羽数の減少が見られ、旭川水系と海岸域で増加しているようである。図-3に見るように県北部においては、3河川とも「ねぐら」が見当らなくなった、または減少している。その反動が県南部の海岸域にカワウを集めているように見受けられる。今後の動向をさらに観察する必要がある。

(完)